

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.369.2025



2025年5月15日発行
公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 加藤雄一
編集人 / 松島晃子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



120th
ANNIVERSARY
SENDAI YMCA



水上の危険から
子どもたちを
守るために

『YMCAのウォーターセーフティー活動』

夏が近づくと、川や海、プールなど水辺で遊ぶ機会が増えていきます。一方で、水難事故もこの時期に集中しています。2023年には全国で1,224件の水難事故が発生し、437人が大切な命を落としました。

事故の多くは7～8月にかけて起こり、子どもが関わるケースも少なくありません。遊泳中に流されたり、足が届かない場所に入り込んだり、衣類が水を吸って動けなくなったりと、日常の延長にある水辺が一瞬で危険な場所になってしまうことがあります。

こうした事故から子どもたちを守るためには、水の楽しさだけでなく、正しい知識と行動を身につけることが重要です。YMCAでは、幼児期から水に親しむ活動を行いながら、事故時の対処法や危険予知の力を育てる指導を続けています。

仙台YMCAでは、子どもたちが水に親しみながらも、安全に過ごせるよう「ウォーターセーフティー(水上安全)」の教育に力を入れています。その一環として、仙台YMCA幼稚園、YMCA西中田こども園、YMCA南大野田こども園、YMCA加茂こども園、YMCA長町こども園の5つの施設において、毎年「着衣泳指導」を実施しています。これは、服を着たまま水に落ちた場合の対処法を学ぶもので、「浮いて待つ」姿勢や呼吸の確保の仕方、周囲への助けの求め方など、万が一の状況で命を守る行動を身につける貴重な機会となっています。

(第2面へつづく)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。
喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。
世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を拡げます。
子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。



また、仙台市内の小学1年生にはYMCAで作成している「ウォーターセーフティーハンドブック」を配布しており、小学校の先生が水上安全について話す機会を設けていただいています。このハンドブックでは、水辺でのルールや事故に遭ったときの対応方法がイラストと共にわかりやすく紹介されており、子どもたちの理解を深める助けとなっています。ご家庭でも一緒に読み返していただくことで、家庭内での安全意識の共有にもつながります。



さらに、YMCAのスイミングスクールでは、通年を通して「泳げるようになる」ことだけでなく、「水の中で身を守る力を育てる」ことにも重点を置いています。水中でのバランスのとり方や、浮く・休むといった動作の習得、安全な行動の選択など、継続的な指導の中で自然と身につくよう練習を行っています。こうした積み重ねが、いざという時に冷静な判断から行動できる力へとつながります。6月にはスイミングクラス内で短い時間ですが、水上安全について学ぶ講習会も行っています。簡易的な浮具の紹介、水辺での安全な遊び方など、ウォーターセーフティーハンドブックを用いて学べる機会を作っています。小さな学びの場が、子どもたちにとっては大きな備えとなるのです。



水辺は楽しい場所であると同時に、危険が潜む場所でもあります。「水を怖がらせる」のではなく、「正しく恐れる」ことを伝えることで、子どもたちはより自由に、安全に、水と関わるすることができます。

家庭でも、夏を迎える前に「水辺ではどう行動するべきか」「万が一落ちたらどうするか」といった話を、ぜひお子さんと共有してみてください。日々の積み重ねが、命を守る力になります。これからも、地域と家庭と連携しながら、子どもたちが安心して成長できる環境づくりを続けていきたいと考えています。

今年の夏もYMCAのプールでは子どもたちの大切な命を守るために、水上安全の指導に力を入れて、楽しい夏が過ごせるように活動を進めてまいります。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

健康教育部 / 糟谷昌洋

YMCAと私

西山児童館

児童クラブ・ニシヤマセブン / 青田葉奈さんお母さま

娘が小学校へ入学し西山児童館へ通い始めたのは、5年前でした。

5年前の5月はちょうどコロナ真っ只中だったので、なにかと不安の多い小学校生活のスタートだったのを今でもよく覚えています。小学校の入学式は6月になり、4-6月の間は家での留守番が難しい等の理由がある限られた児童のみ登校、登館することができるという状況でした。感染対策や制約も多く児童館も大変な時期だったと思います。そんな中でも子どもたちはいたって元気に子どもらしく過ごしていた姿が思い出されます。まっさんリーダー、みさきリーダーはじめ沢山のリーダーの支えがあったの事だと思っています。お陰様で6年生になった今でも娘にとって児童館は、安心して過ごせる大切な場所になっているようです。

6年生になり児童館へ行く回数はだいぶ少なくなりましたが、毎月行われる地球探検隊、ニシヤマセブンの活動にはいつも楽しく参加させてもらっています。参加した後は充実した楽しい時間を過ごした様子が伝わってくるくらい沢山話してくれるので、親として今回はどんな経験ができたのかな？と毎回聞くのがとても楽しみです。

中でも1番印象的だったのが、セブンの活動で閉上までの約20kmの自転車の旅でした。自転車の運転もまだ若干あやしい4年生の頃です。親としては心配が先立ってしまい前日の夜に「本当に行くの？」と再確認してしまいました。結果、無事にやり遂げたくましく日焼けした顔つきで戻ってきた娘を見たとき、親ばかかもしれませんが感動してしまいました。「子どもというのは、親の目の届かないところで育つ」と何かの本で読んだのですが、本当にその通りだなと実感しました。西山児童館という環境に恵まれ、親や先生ではないリーダーたちに新しい経験や挑戦を見守って頂けたこと、本当に感謝しております。

西山児童館が大切にしている、「思いやり」、「正直」、「責任感」、「尊敬心」を胸にこれからも成長して行ってほしいです。最後に、児童館での生活を振り返るこの様な機会を頂きありがとうございました。



連載

加藤 総主事の

『みつかる。つながる。
よくなっていく。』

第19回

『You Must Come Again..』



今年も幼稚園・子ども園の卒園式、ホテル専門学校の卒業式が行われました。別れの時を迎えた子どもたちの目には、大粒の涙があふれていました。その涙は、先生たちとの深い絆と、数えきれない思い出の証でした。そんな別れの日々の中で、とても印象に残るできごとがありました。

ピアノ教室に通う小学6年生の女の子が、9年間のYMCAでの時間を終える最終日を迎えました。彼女は幼稚園の頃からずっとYMCAに通い続けた、一人の「卒業生」でした。その日は補講レッスンだったため、普段のようにバスでの送迎はなく、YMCAの車で自宅まで送ることにしました。レッスンが終わり、車に向かって歩き出したそのとき、後ろをついてきたはずの彼女の姿が見えなくなったのです。あたりは少しずつ暗くなっていて、不安を感じながら来た道を戻ると、隣の車の陰でしゃがみ込んでいる彼女を見つけました。手には、キッズ携帯。YMCAの車に描かれたロゴマークの前で、自分の姿をこっそりと撮っていたのです。

「もう最後だから…」

彼女はそう言わなかったけれど、その姿がすべてを物語っていました。大好きだった場所、大切にしていた時間を、心にしっかりと刻んでおきたかったのでしょうか。

「もっと明るい場所で、はっきりとYMCAのロゴが見えるところで撮ろうよ。」

そう言って、会館の入り口まで戻り、あらためて写真を撮りました。YMCAのロゴの前で笑顔を見せる彼女は、どこか誇らしげで、でも少しだけ寂しそうでした。

その後、車で自宅まで送る道中、「また、YMCAに来てね。中学生になっても、ボランティアやバザーにも参加できるよ」と伝えると、彼女の顔がふわっと明るくなりました。そして、別れ際に、手を差し出すと力強く握り返してくれました。長い時間をYMCAで過ごし、たくさんの思い出を心に刻んだ子どもたち。YMCAは、そんな皆さんがまた帰ってきてくれる日を、いつでも、いつまでも待っています。

You Must Come Again.



volunteer

富沢児童館

富沢児童館ジュニアボランティア「トミザワイレブン」富沢中学校1年 / 嵯峨 愛子さん

私は小学一年生のときから児童館にお世話になりました。「地球探検隊」が好きでよく行っていました。そのときにトミザワイレブンがお手伝いしているのを見て、とってもあこがれていて、早く4年生になりたいと思っていたほどでした。そして遂に4年生になり、イレブンに入ると、期待を裏切らない、むしろ期待を超えるような楽しさと達成感でした。具体的には、大きく二つのところに楽しさと達成感を感じました。

1つ目は、地域に恩返しができることです。トミザワイレブンは「策川清掃」に参加します。策川にはゴミがほとんどなくて苦戦しますが、ゴミを拾ったときの達成感や、仲間やリーダーと協力する楽しさを感じられます。きれいにしてもらった策川もきっとよこんでくれているし、私たちも終わったらとても良い気持ちになれるので一石二鳥です。

2つ目は（1つ目と重なるところがありますが）仲間と協力し目標に向かって取り組むことができることです。私が最もそれを感じているのが、毎年行われるイレブンキャンプです。イレブンキャンプでは、私たちが提案した“やりたいこと（目標）”をもとにし、リーダーが2~3個の目標を立ててみんなで挑戦します。2日間の中で、その土地で拾ったものを活かしながら、楽しみながらみんなで生活していきます。すべてのことをやりとげたときの達成感はずばらしいものです。そしていままでのイレブンキャンプは消えることのないであろう大切な思い出です。

イレブンではいろいろな人と関わり、協力し、すばらしいものを手に入れることができました。私にとってのそれは、『思いやり』です。私はイレブンとしてみんなと活動し、どうしたらみんな良い気持ちになれるだろうと考えながら行動することで、“思いやり、行動する力”を付けることができたのではないかと思います。これからもその心を大切に、そして仲間を大切に、自分がトミザワイレブンであるということに誇りを持って活動していきたいと思っています。



維持会費（4月16日～5月15日）

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

◆一般会員

維持会員A 平野 邦夫

※敬称略



絵：伊勢文夫さん

一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7533

FAX:022-222-2952

仙台ワイズメンズクラブ / 小幡 忠弘

24 - 25期は「活動の活性を図る一年に」というテーマのもと、積極的に活動を行ってまいりました。毎月の第3火曜日の18時30分を基本の第一例会として、昨年の12月には恒例のクリスマス例会、今年の4月の例会は6名のゲストをお呼びしての4月12日（土）に特別お花見例会を行いました。

今回のコラムは先月行われたお花見例会の紹介をさせていただきます。

お花見例会を行ったのはコロナ以前でしたので久々のお花見例会となりました。本来でしたら、西公園で実施したかったのですが、前日の天気予報があまり良くなかったこと、また週末と満開が重なり多くの来場者が見込まれ場所取りと準備が厳しいとの理由で中川会長の最終判断で、仙台YMCAの教室で行うことになりました。

当日は、13時半からのスタートでしたが、10時半から買だしと準備を始め、テーブルのセット、オードブルや飲みものを準備したり、おでんを鍋に温め焼きそばを準備し、プログラムの担当者とゲストで力を合わせて皆様をお迎えする体制を整えました。13時半近くになるとワイズメンクラブの皆さんやゲストが集まり、食べ物や飲み物の差し入れでテーブルの上がみるみる華やかになっていきます。定刻になり、中川会長の開会点鐘とともに、お花見例会がスタートしました。開会あいさつでは、開口一番「いい天気になりましたね。」きっと集まった皆さんは西公園でお花見をしたかったに違いありません。そこはグッと堪えて、目の前のご馳走と飲み物を嗜みながら、参加者一同春の訪れを楽しみました。

仙台ワイズメンズクラブも高齢化が進み、新規の会員の加入もなく厳しい状況が続いておりますが、毎月の例会を守り、ゲストを迎えつつワイズメン同士の親睦を深めるとともに、仙台YMCAの支援に取り組んでいきたいと思っています。今後も様々な例会を積極的に企画して、ゲストをお誘いし仙台ワイズメンクラブの魅力をお伝えしていきたいと思っておりますので、ぜひお誘いした時は、喜んで参加していただければ幸いです。

新規会員は365日、24時間募集しておりますので仙台YMCAの本部事務局までお問い合わせください。



仙台YMCAバザー

仙台YMCAバザー

2025年6月15日(日)
10:00-14:00

場所：仙台YMCA立町会館
(仙台市青葉区立町 9-7)

皆さまのご来場を心よりお待ちしております！
ご来場の際はぜひエコバッグをご持参ください★

仙台YMCA
バザーHPは
こちら！



仙台YMCAバザー

仙台YMCAバザー

★お問合せ★

仙台YMCAバザー実行委員会

TEL：022-222-7533

Mail：seishonen@sendai-ymca.org

事務局 担当：金谷三平



仙台YMCA
「こどもとかわる仕事」しませんか？

施設見学 ツアー

定員 12名 (先着順)
参加無料

★2025年5月24日(土) 9:00-13:00
(9:00) 七十七銀行本店前集合 (13:00) 仙台駅または地下鉄西公園駅解散

YMCAには子どもと関わる仕事がたくさんあります。あなたの強みや元気を活かしてYMCAで、私たちと一緒に働いてませんか？

見学する施設：〒980-0001 仙台市青葉区中央 仙台YMCA立町会館

見学する内容：施設見学、説明、質疑応答、お茶会

参加費：お申込み
お申し込み：022-222-6642 (YMCA事務局にて受付)

受付時間：平日 9:00-16:00

仙台YMCA採用事務局
〒980-0001 仙台市青葉区中央 仙台YMCA立町会館 101号室
TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-9965
http://www.sendai-ymca.org Mail: syoshonen@sendai-ymca.org

仙台YMCAは、120周年を迎えました。

仙台YMCA

6月28日(土)

2025年度 仙台YMCA大会 開催

120th
ANNIVERSARY
SENDAI YMCA



地下鉄東西線/大町西公園駅より徒歩5分
地下鉄南北線/勾当公園駅より徒歩15分、広瀬通駅より徒歩15分
仙台市営バス/立町小学校前バス停より徒歩3分、東北公済病院前バス停より徒歩5分